

情報セキュリティ担当者の育成について

平成17年 3月 17日

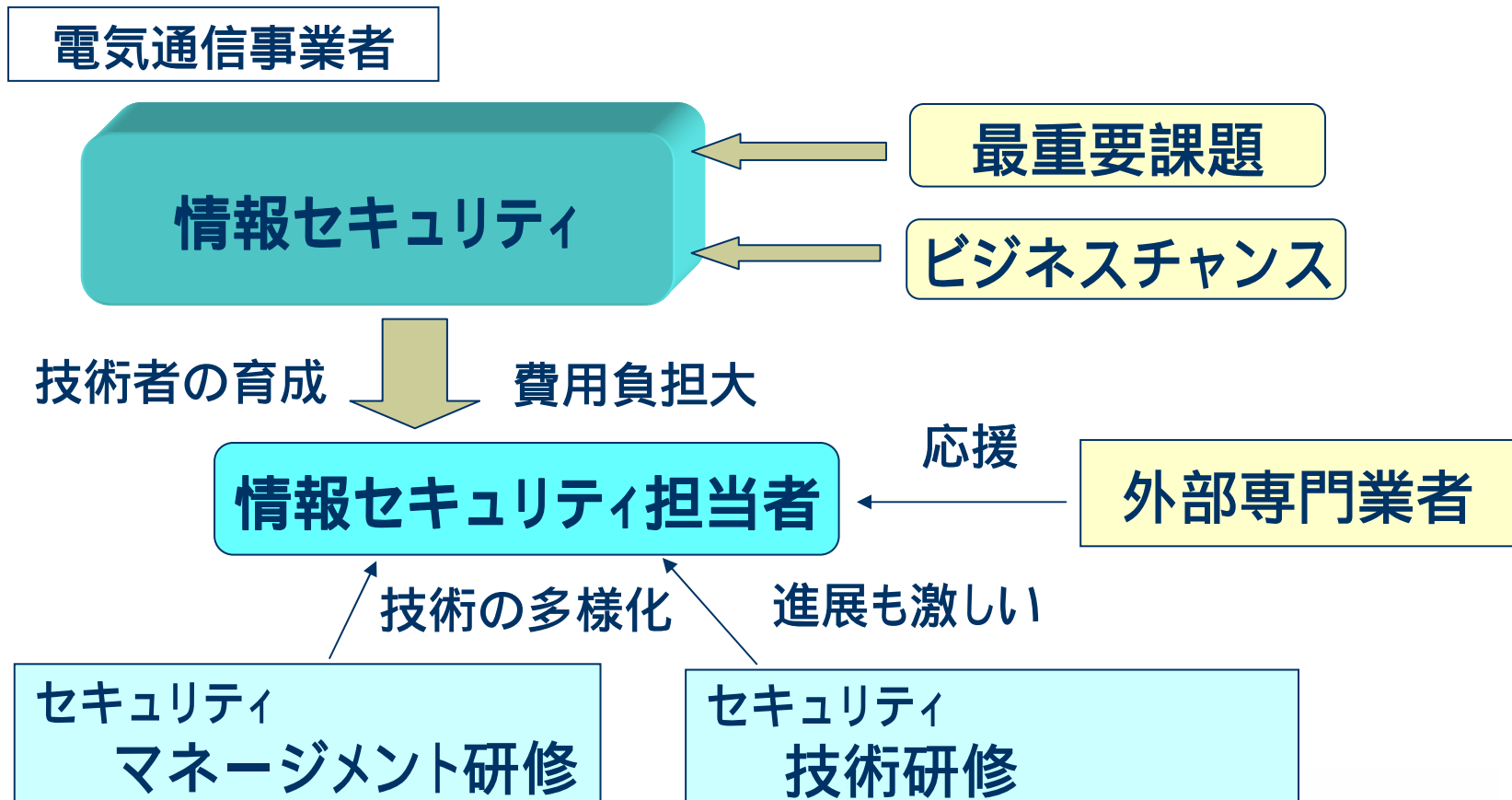
株式会社 インテック

技術本部

水野 義嗣



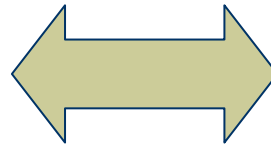
情報セキュリティ担当者の育成状況



情報セキュリティ担当者育成の課題

**通信事業者の
セキュリティ担当者**

育成



習得すべき技術

IT技術一般、ネットワーク技術
インシデント対応技術、監視技術
IDS、FW、ログ解析、ネット診断
国際規格、国内制度、管理規準
情報セキュリティマネジメント
リスクマネジメント技術・手法
関連の法律、ポリシー策定他

- ・技術取得の範囲が広く、深い(育成時間が必要)
- ・講習会やトレーニング費用等が高額(育成費用が必要)
- ・技術の進展が早い(継続的な育成が必要)
- ・技術レベルの判定が難しい(該当する認定資格がない)
- ・必要なレベルの技術者が不足(技術者数が不足)

情報セキュリティ関連の各種認定の状況

企業の認定

国際規格
から

ISMS適合性評価制度

継続審査: 3年、維持審査: 1年

情報セキュリティ監査制度

国内規格

Pマーク付与制度

継続審査: 2年、維持審査: 1年

安心・安全マーク制度

技術者の認定

2 ~ 3年更新
前提資格
継続条件

公認
システム
監査人

公認情報
セキュリティ
監査人

ISMS
審査員

公認情報
セキュリティ
マネージャー

通信系
各種認定
技術者

永久資格 システム監査技術者

情報セキュリティ
アドミニストレータ

認定機関、
ベンダーの試験

通信系技術者
の試験

情報セキュリティ担当者の各技術分野資格

◆ 情報処理技術者

- ・システム監査技術者
- ・テクニカルエンジニア(ネットワーク、データベース、システム管理)
- ・情報セキュリティアドミニストレータ

◆ 通信技術者

- ・電気主任技術者(1種、2種、3種)
- ・電気通信主任技術者(伝送交換主任技術者、路線主任技術者)
- ・陸上無線技術士、総合無線通信士、電気工事士、工事担任者

◆ マネージメント技術者

- ・ISMS審査員(主任、審査員補)、BS7799リードオーデーター
- ・公認情報セキュリティ監査人(主任、監査人補)
- ・公認システム監査人、公認情報システム監査人(CISA)

情報セキュリティ担当者育成の支援策

情報セキュリティ担当者育成支援策事例

